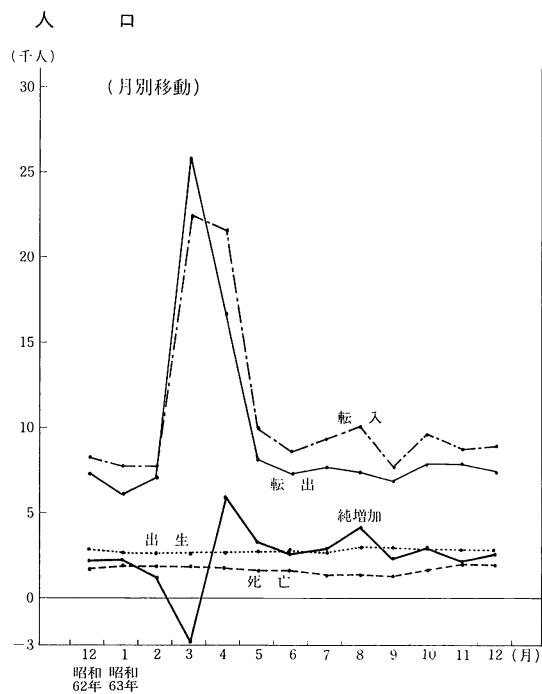
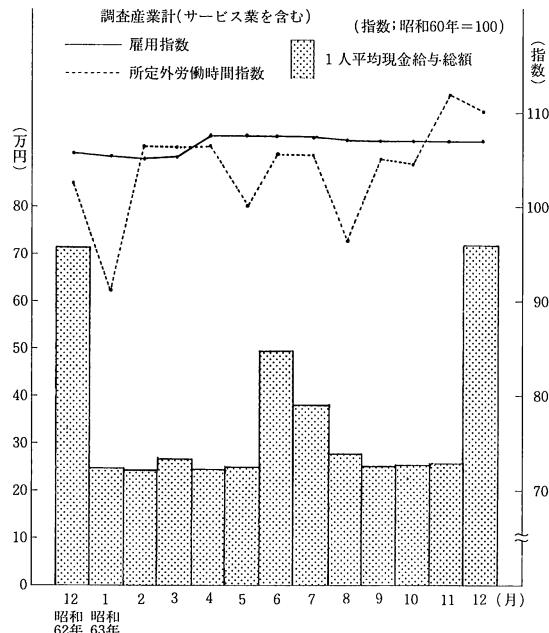


● 今月の主な動き

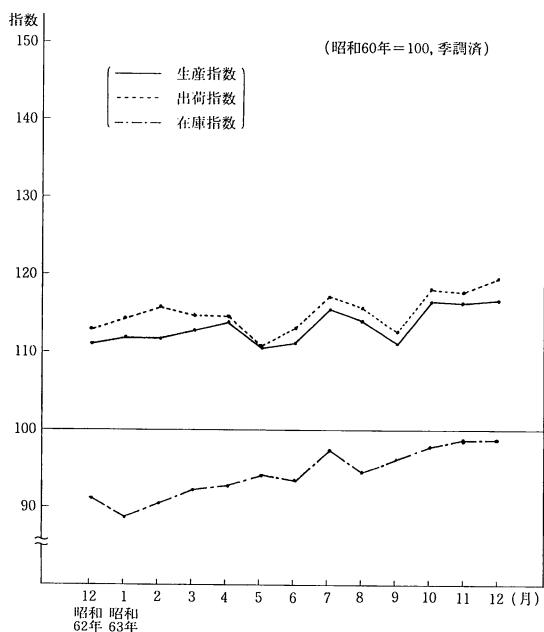
今月の主な動き



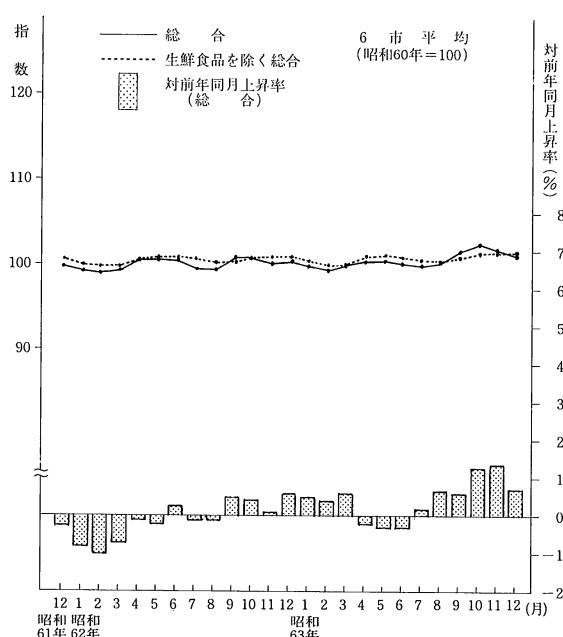
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指標(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



本月の主な動き ●

主な動きのあらまし 企画部統計課

■ 人口(1月1日)

本県の人口は、12月中に2,218人増加し、1月1日現在で2,804,700人(男1,397,513人、女1,407,187人)となった。

内訳は、自然動態で776人(出生2,434人、死亡1,658人)、社会動態で1,442人(転入8,675人、転出7,233人)、それぞれ増加した。

市町村別では、増加が14市42町村、減少が6市24町村、

増減なしのが2町である。

なお、63年中の人口増加は27,883人となり、増加率は1.0%で62年(0.91%)を0.09ポイント上回っている。また、増加率が1%を超えるのは4年ぶりである。

世帯数についても、575世帯増加して、800,259世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用(12月)

1. 平均賃金の推移

12月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は724,392円で、前月に比べ181.8%増(前年同月比2.6%増)であった。

このうちきまって支給する給与は251,375円で、前月に比べ0.2%増(前年同月比4.1%増)であり、特別に支払われた給与は473,017円で、前月に比べ466,794円増(前年同月比3,340円増)であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は182.1時間で、前月に比べ0.2%減(前

年同月比0.7%増)であった。

このうち所定内労働時間数は162.5時間で、前月に比べ0.0%もちあい(前年同月比0.1%増)であり、所定外労働時間数は19.6時間で、前月に比べ1.5%減(前年同月比7.4%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると107.6で、増減率は前月に比べ0.1%減(前年同月比1.8%増)であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(12月分)

本県における昭和63年12月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が△17.2、出荷が△20.2、在庫が98.9で、前月比は、生産が0.4%の上昇、出荷が1.4%の上昇、在庫が△0.2%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が5.2%の上昇、出荷が6.2%の上昇、在庫が7.9%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、鉄鋼業、食料品・たばこ工業等が上昇し、輸送機械工業、非鉄金属工業、精密機械工業等が低下した。出荷では、繊維工業、電

気機械工業、プラスチック製品工業等が上昇し、輸送機械工業、鉱業、鉄鋼業等が低下した。在庫では、鉱業、精密機械工業、鉄鋼業等が上昇し、電気機械工業、繊維工業、一般機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、建設財、資本財が低下した。出荷では、耐久消費財、資本財、その他用生産財等が上昇し、鉱工業用生産財が低下した。在庫では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。

■ 消費者物価指数(12月)

昭和63年12月の茨城県消費者物価指数は、総合で101.2(昭和60年=100)となり、前月比△0.5%の下落、前年同月比0.7%の上昇となった。

今月上がった主な項目……乳卵類3.5%、衣料1.4%、他の家具・家事用品0.9%、理美容サービス0.7%

今月下がった主な項目……野菜・海草△11.8%、果物△4.2%、他の光熱△3.2%、魚介類△1.6%

生鮮食品を除く総合は101.5となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比0.4%の上昇となった。

費目別指標

(昭和60年=100)

区分	指數	上昇率(%)		区分	指數	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.2	△0.5	0.7	保健医療	103.1	0.1	0.1
食料	99.4	△1.9	0.9	交通通信	100.1	0.0	△0.7
住居	108.4	0.4	2.4	教育	113.2	0.0	2.8
光熱・水道	87.5	△0.1	△2.3	教養娯楽	102.3	0.0	1.0
家具・家事用品	99.3	0.6	0.3	諸雑費	103.3	0.2	0.3
被服及び履物	106.8	0.7	2.0	生鮮食品を除く総合	101.5	0.1	0.4